

やってみよう!!
ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、442年ぶりに起きたという珍しい天体ショーのお話です。

442年ぶり天体ショー 同時に皆既月食と惑星食

神戸の夜空にも

月全体が地球の影にすっぽりと入る皆既月食が8日夜、全国各地で観測された。今回の月食は惑星(天王星)食も同時に起き、1580年以来、442年ぶりの珍しい天体ショーになった。

月は午後7時16分に皆既食が始まり、その後、天王星も月の後ろに隠れた。同8時42分までに皆既食は終わり、約1時間かけて満月に戻った。

皆既食中の月は、わずかに入り込んだ太陽光によって赤黒い「赤銅色」になり、幻想的な姿を見せた。

神戸でも東の空に赤銅色の月が浮かび、あちこちで夜空を見上げる人がいた。

国立天文台によると、次回の皆既月食は3年後の2025年9月8日。皆既月食中に惑星食が起きるのは、322年後の2344年7月26日となる。

(長嶺麻子、坂井萌香)



皆既食となった月に近づいていく左下の天王星。右は旧神戸港信号所118日午後8時26分、神戸市中央区東川崎町1から(撮影・長嶺麻子)



11月9日の朝刊にのった記事

①皆既月食はどんな現象ですか

②皆既月食で月(写真)は何色をしていますか。なぜ、このような色になるのでしょうか

③月食と惑星食が同時に起きたのは442年ぶりです。前回1580年に生きていた歴史上の人物を、以下の中から選びましょう(複数回答)

1. 北条政子
2. 織田信長
3. 明智光秀

4. コペルニクス
5. ガリレオ・ガリレイ
6. ナイチンゲール

④次に皆既月食が見られるのはいつですか

⑤次に、皆既月食中に惑星食が起きるのは322年後。どんな地球になってほしいですか

答えは27日の「週刊まなびー」にのるよ。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて11月26日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

13日週刊まなびー

ワークシートの
解答例

- ①秋、脂が乗っているから
- ②特上
- ③ブリ、サバ、タイ
- ④【ズワイ】ガニ、ノド【グロ】、アン【コウ】
- ⑤自由記述